

令和元年度 職員等提案制度職員投票 投票結果

職員等提案制度については、平成29年度から優れた業務改善を行った取組に対して表彰しています。被表彰者の選考にあたっては職員投票の形式で皆さんに選考してもらい、その結果、次の2つの取組が選ばれました。

職員投票の投票結果

○投票期間：令和元年7月1日～令和元年7月31日

○表彰ノミネート事例数：11事例

○投票数：1,164票

子ども育成課

獲得票数178票

改善事例

預かり保育実績集計システムの配布

改善内容

預かり保育の実績集計用システム「すてっぴ」(Excel)を作成し、実施園に配布した。園は、毎日退園時間等を入力するだけで計算不要となり、市も正確に集計できるようになった。

消防本部警防課

獲得票数134票

改善事例

学生機能別団員の設置

改善内容

消防団員の確保策として、学生に焦点を当て、市内2大学と調整し、学生機能別団員を設置した。このことにより、消防団への若い世代の加入促進や、地域防災力の充実強化及び組織活性化が図れた。

●子ども育成課

集計システムを作成し各施設へ配布

子ども育成課では、保育所等各施設の担当者と頻りに接する機会がある。その中で、最近仕事で困っていることはないかという何気ない会話から、預かり保育の実績集計が非常に複雑で大変との声があり、今回の事務改善に至った。改善内容は、Excel で集計用のシステムを作成し、預かり保育を実施している全ての園に配布するというシンプルなものであるが、これにより園は退園時間等の入力を行うだけで実績集計が自動で行え、市としても、補助金交付の根拠となる実績統計資料の正確性が確保された。

システムの作成にあたり努めたことは？

もともと、公立保育所で使用している延長保育の実績集計用システムがあり、これを活用しシステムの作成に取りかかりました。マクロやピボットといった複雑なツールは極力使用せず、簡単な関数のみで自動計算ができるようなシステムになるよう意識して作成しました。異動などにより自分がいなくなったとしても、誰でもメンテナンスができるようシンプルなシステムを構築することが重要だと思います。

業務改善への熱い思い

各業務には大小様々な課題がありますが、毎日忙しい中でも「自分たちの手で改善できた！」と思えるよう取り組むことを心掛けています。今回の取組で一段と作業が楽になったことで、園からは感謝の言葉をいただき、職員からは「やってよかった！」の声があがりました。子ども育成課では、今回表彰された取組以外にも、職員それぞれが業務改善に向けて日々取り組んでいます。これからも職場（公立・私立の保育施設）の声を大事にしなが、ら、「やってよかった！」を積み重ねていきたいです。

●消防本部警防課

学生機能別団員発足で若い世代を取り入れる

消防団員数は、少子高齢化の進展、就業形態の変化などの影響により全国的に減少しており、団員の確保は喫緊の課題となっている。このため、国は、消火活動などを行う基本団員のほかに、特定の活動を行うための機能別消防団員を創設するなど新たな取組みを行っている。本市でも、地域防災の将来を担う若い世代の消防・防災活動への参加を促進する観点から、学生機能別団員を設置した。

発足までの道のりは？

市内2大学と連携し、各サークル長が集まる場や授業時間の一部を利用させていただくなど、学生に制度の概要を説明する機会を設けていただきました。また、就職活動に活用できるように、一定の要件を満たした団員に認証状を交付する学生消防団活動認証制度を設けました。学生ファーストを心掛け、学生の空いている時間を優先し、根気よく制度をPRしたことで、団員確保につながったと思います。

今後の課題や活動内容は？

学業と消防団の活動の両立が大変みたいで、出席率向上が今後の課題ですね。発足直後は、防災フェスなどイベントへの参加が活動の中心となっていましたが、今年度は危機管理課に講師を依頼し、避難所設営等の体験研修を実施しました。学生団員からも好評で、今後も学生が興味を持って参加できる活動内容を企画していきたいと思っています。